

【愛知】ウエイト

東海(片山和洋社長、半田市)はこのほど郡上市商工会が主催する「2022第10回郡上ビジネスマッチング」に参加し、同社が開発した荷物落下防止システムを搭載した自動ラック「S・G・B(Safety Gate Box)」を周知した。

同イベントは企業が1対1で行う商談会で、多種多様な企業が参加した。同社のスペースには製造会社や、特許事務所、特定非営利活動法人の4社が来場。同社の活動を高く評価

ウエイト東海 郡上ビジネスマッチング参加

他業界もターゲットに

し、協力の姿勢を示した。

参加した片山悠取締役は、日本の倉庫内における高積み of 危機的な状況に言及。「安全対策がされていない倉庫の高積みは、震災や事故が起きた際、人命を脅かす大きな問題に繋がる。適切な安全対策を施すことで企業の金銭的損害のリスクを減らし、また企業のイメージアップにもなる。何よりの人の命を守

れる。その為にも社内にSGBの導入を検討してくれば」と考えを示した。

同社はこれまで主に物流業界をメインにして活動してきたが、今後は他業界も視野に入れて展開していく予定。

(森あきほ)



S・G・B